

歴史とまちづくり活動の経緯

1. 可部の町並み

1) 可部旧街道の歴史

広島市の北部に位置する可部地区は、中国山地から瀬戸内海に注ぐ太田川の舟運と出雲・石見をつなぐ街道の要衝に形づくられた町で、戦国期には高松城の城下町として整備されました。

2) 可部の産業

江戸時代に入ると、山繭織、酒や醤油の醸造、鋳物業などで栄えた。また、広島城下からの輸送中継や周辺部、山陰地方の物資の集散地として賑わい、多くの人や物が行き交う交通の要所として、宿場町としての機能も備わっていた

3) 建物の特徴

現在でも、江戸後期から昭和初期にかけて建てられた伝統的な日本家屋や町屋が多く残っており、旧街道の中央付近には、城下町の防御などのために「折目」と呼ばれる直角に折れ曲がった道筋があり、しっかりと趣が残っています。

また、建物としては、「平入り」と言われる様式の古民家が、街道に面して今も特徴的に存在しており、袖卯建や厨子二階、虫籠窓といった町家造りの建物が見所として残っております。



可部の街並み



明治初期の建物

2. 可部夢街道まちづくりの会の結成について

1) 活動のきっかけ

歴史情緒ある町並みですが、昭和に入ると、国道整備や大型スーパーの出店、団地開発などが進み、それに併せて、生活様式の変化なども重なる事で、人口の流失や、高齢化、後継者不足などにより、解体や建替え等が少しずつ進み、町並みに変化が生まれ地区全体の空洞化を感じるようになりました。

平成15年に地域の玄関口であるJR可部駅の西口広場整備を契機として、まちづくりの気運が高まり、歴史ある建物や町並みを残し、活かしながら次世代に繋げる思いで「可部夢街道まちづくりの会」を結成しました。

2) 会のキャッチフレーズ

「住んでよし訪れて良い可部の町」をキャッチフレーズに地域住民が主体となり、まちづくりを進めております。

3. 取り組み・活動

1) これまでの取り組み

平成15年に発足後、これまで様々な活動を行ってまいりました。

一例を挙げると、地域の方と可部の町並みについての勉強会や、専門家を交えてのワークショップなどで、まちづくりについての基本方針を学ぶ取り組みや、可部駅西口広場完成に伴い、ボランティアの会を発足し清掃活動等の体制整備など、今後の活動における地域との関係作りに取り組んでまいりました。

また、歴史情緒溢れる町並みを上手に残していく為、町並みづくりの基本的な方針を示した「町並みづくりガイドライン」を作成し、住民の方と建物に対する考え方を共有してきました。



町並みづくりガイドライン



可部駅西口広場の清掃

2) 現在の主な取り組み

これまでの活動に加え、可部のまちづくりをより効果的にする為に、現在では大きく3つの柱で取り組んでいます。

(1) 花の散歩道

「花の散歩道」は、可部の裏道を楽しんで歩いてもらうためJR可部駅から続く約1kmの路地道を花で繋いでいます。各家庭の前には四季折々のプランターを並べ、路地道に彩りを与えてくれます。プランターの管理は当会と地域住民が共に行い、これまで協力して維持してきており、住民の生活道でもあるこの「花の散歩道」は地域の方に愛され、落ち着いた町並みの雰囲気と花の彩りで来訪者を優しく迎えてくれます。



会のメンバーと住民での植え替え作業



路地道に彩りをもたらしてくれます

(2) 可部の町並み保全

これまでの様々な取り組みの中、地域外より「古民家でお店がしたい」「古民家に住んでみたい」といった問い合わせが徐々に増え、適切なマッチングが望まれて来ました。

そして、平成30年には広島市の補助事業として「可部古民家情報バンク」を立ち上げ、地域と地域外をしっかりと繋ぎ、まちづくりの一環としての空き家バンク事業を推し進めています。現在は、この事業を地域に広く認知して頂く為に、住民の方と一緒に古民家や空き家の数の調査や、定期的な勉強会を行なっている段階であり、これから益々の広がりを期待している状況です。



可部古民家情報バンクパンフレット



勉強会の風景

(3) 可部の町めぐり

毎年10月には「可部の町めぐり」というイベントを開催しており、地元団体の発表や、ボランティアガイドによる寺社・史跡めぐりツアー、酒蔵コンサート、歩行者天国、そして地域ならではの特産品の販売など、一日限定で行っておりますが盛り沢山の内容です。可部のむかしと今をめぐ



魅力あふれるお店も出店

り、ふれあい、味わうことができるイベントとして毎年約1000人の来場者に可部の魅力を楽しんでいただいています。



毎年多くの方で賑わいを見せる



子供から大人まで楽しめる一日

4. 今後の展開

これまで行ってきた、地域に残る美しい街並みや歴史的建造物を「守る」活動に加え、今後は活用して「活かす」活動を加えていき、人の息づかいのする町並み形成を目指して行きたいと考えております。可部の歴史的な資産を活かし、これからのまちづくりに取り組むことで、訪れる人々に町の歴史や温かさ感じて頂きたいと思えます。

地域住民にとって誇りとなる「古くて新しい可部の魅力」を生み出し、地域全体として盛り上げて行きたいと考えております。